

# CSR Report

ふれあい報告書<sup>®</sup> 2010



ありがとうを  
つなぐ...

地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

**WATAMI**<sup>®</sup>

# CONTENTS

## 目次

- P 2 ブランドコミットメント
- P 3 目次・編集方針
- P 4 トップメッセージ
- P 6 ワタミグループに共通する経営の考え方
- P 8 ワタミグループの特徴
- P 9 ワタミの事業活動
- P10 コーポレートガバナンス
- P12 ありがとうをつなぐ…特集1  
ワタミグループの環境活動
- P16 ありがとうをつなぐ…特集2  
全社員ボランティア活動を目指して
- P20 ありがとうをつなぐ…特集3  
次世代の子どもたちに、  
学びの場を
- P24 **お客さまとともに**  
外国国内/海外事業、介護事業、  
高齢者向け宅配事業、MD事業、  
農業、環境・メンテナンス事業
- P40 **株主様とともに**
- P44 **お取引業者様とともに**
- P46 **従業員とともに**
- P50 **地域・社会とともに**
- P52 **環境とともに**
- P56 ワタミグループ概要
- P57 2009年度アンケート結果/  
編集後記

### ブランドコミットメント

## ありがとうをつなぐ…

創業時から思いをカタチにすべく、ただひたすらに相手の幸せを願い、小さなことから肩肘はらずにコツコツと「ありがとう」を集めてきました。

26年経った今「ありがとう」の輪は、お客さま、株主様、お取引業者様、従業員、地域・社会、そして地球環境へと広がりました。

これからも基本姿勢は変えず、持続可能な「ありがとう」があふれる社会を目指し、私たちは更なる「ありがとう」をつなぎ続けます。

地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

# WATAMI®

### ふれあい報告書2010

■「ワタミグループCSR報告書」発行にあたり  
「ふれあい報告書」というタイトルは、私たちの活動の根幹である経営理念からネーミングされました。私たちは、人として、社会の一員としての責任を果たし、事業活動を営む一方で、できる限りの社会貢献に取り組んでいくことが大切だと考え、「できることからコツコツと一歩ずつ」を基本に創業時より努力してまいりました。

2001年より、この考え方に基づく行動を「ふれあい活動」と名づけ、グループのテーマに「環境貢献、社会貢献、人間貢献」を掲げ、今まで以上に明確に決意（意思）を表明し、毎年、環境および社会貢献に関する報告書として、また2006年からはステークホルダー（利害関係者）の皆様との関わりについても記載し、CSR報告書として発行しています。

本報告書を通じて、皆様の温かいご理解と貴重なご意見を頂戴することができましたら幸いです。

### ■編集方針

本報告書は、ワタミグループの活動や取り組みをわかりやすくご紹介させていただくことを目的に、ステークホルダーの皆様ごとに掲載しています。

本報告書では、  
□各ステークホルダーの皆様にご意見・ご要望を伺い、企業活動に活かしているか  
□活動に対する姿勢、昨年度の課題に対する実績と評価、今後の目標を積極的に掲載しています。

また、特にステークホルダーの皆様が関心が高い事項について記載し、情報の開示に努めています。

なお、本冊子に記載されている内容は、「ワタミふれあいホームページ」でご覧いただけます。

(<http://www.watami.co.jp>)

### ■対象期間

2009年度(2009年4月1日～2010年3月31日)の活動を中心に、一部最新(2010年度)の情報を紹介しています。

※ワタミの介護(株)、ワタミタクシヨク(株)については、2月決算のため、2009年度(2009年3月1日～2010年2月28日)の情報としています。

### ■対象範囲

ワタミ株式会社および国内連結子会社9社を基本に、ワタミグループ全体、あるいはグループ会社の個々の活動についても紹介しています。

本報告書の「ワタミグループ会社概要」では海外を含むワタミグループ全体について紹介しています。

※P28、P29「お客さまとともに 外食事業(海外)」では、Watami International Co., Ltd.、和民(中国)有限公司、和民餐飲(深圳)有限公司、台湾和民餐飲股份有限公司、WATAMI FOOD SERVICE SINGAPORE.PTE.LTDを対象範囲としています。社名表記については、Watami International Co., Ltd.を「ワタミインターナショナル」、台湾和民餐飲股份有限公司を「台湾和民」と表記しています。また、対象期間は、12月決算のため、2009年度(2009年1月1日～12月31日)としています。一部最新(2010年度)の情報を紹介しています。

### ■社名表記について

本報告書ではグループ会社の社名を略称で記載しています。(2010年6月末現在の社名を使用しています。)

1、ワタミ株式会社および国内連結子会社9社を「ワタミグループ」または「ワタミ」と表記しています。対象が異なる場合は、該当する会社を記載しています。

2、「ワタミフードサービス(株)」を「WFS」、「(株)ティージーアイ・フライデーズ・ジャパン」を「T.G.I.F.J」と表記しています。

3、(株)ワタミファーム、(有)ワタミファーム、(有)当麻グリーンライフに関する記載を「ワタミファーム」と表記しています。

4、ワタミの介護(株)を「ワタミの介護」、ワタミタクシヨク(株)を「ワタミタクシヨク」、ワタミエコロジー(株)を「ワタミエコロジー」、ワタミ手づくりマーチャンダイジング(株)を「WTMD」と表記しています。

### ■将来の予測・目標について

本報告書には、ワタミグループの過去と現在の事実だけでなく、将来の予測・目標なども記載しています。しかしながら、これらの予測・目標は、記述した時点で入手可能な情報ないし判断であり、リスクや不確定な要因を含んでいます。

したがって、将来に生じる様々な要因により、活動結果が本報告書に記載した予測・目標と異なる可能性があります。読者の皆様には、以上のことをご理解いただけますようお願いいたします。

# 地球上で一番たくさんのありがとう

# を集めるグループとなるために。



ワタミ株式会社  
代表取締役会長・CEO  
渡邊 美樹

## 100年企業 “WATAMI”を目指して

“WATAMI”は、「地球上で一番たくさんのありがとう」を集めるグループになる」というスローガンのもと、社会に対してよりよい存在でいたいと、活動している企業です。

私たちの活動を通じて

- 「地球人類の人間性向上のためのよりよい環境をつくり、よりよいきっかけを提供する」
  - もっとたくさんの笑顔や「ありがとう」に関われるグループ企業になる
  - ワタミと関わったすべての方たちに、私たちの存在を喜んでいただく
- この思いをカタチにすべく、創業から、「たくさんの笑顔」・「たくさんのありがとう」と出会うべく挑戦を繰り返してきました。

私たちは、自分が嬉しいと思うこと、楽しいこと、笑顔でいられるという自らの幸せを元に、ただひたすらに相手の幸せを願い「ありがとう」を追求し、そのプロセスの中で成長してきました。

今では、その事業領域も第一次産業の「農業」から、第二次産業の「食材加工」を経て、第三次産業の「外食」「介護」「高齢者向け宅配」まで、多くの場面で「ありがとう」を集めることができるグループになりました。

企業として成長していくことは、同時にその社会的責任も大きくなります。(改めて、そしていつでも)ワタミグループ全社員の一人ひとりが、何をもち「ありがとう」を集めるのかを考え、共有し続けねばなりません。

企業とは「人」そのものであり、一人ひとりの行動の反映です。

100年企業“WATAMI”になるためには「人」なくしてあり得ません。

100年先から

- こんなお店があっよかった、ありがとう
- 安全で安心な手づくりの料理を、ありがとう
- あの会社があったから日本は、高齢者にとって幸せな国となった、ありがとう
- あの会社があったから日本の農業が強くなった、ありがとう
- あの会社こそ、持続可能な循環型社会モデルの先駆けだった、ありがとう
- この会社の株主でいてよかった、ありがとう
- こんな会社で働けてよかった、ありがとう

社員一人ひとりが集めた「ありがとうの総和」こそが、“WATAMI”であり、存在を許される理由であり、CSRといわれるものです、“WATAMI”であることが会社の価値を決めると信じます。

今まで、そしてこれからも。

ワタミの理念に基づき、思いを共有した「人」とともに愚直に「ありがとう」を追求し続けます。

皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

渡邊美樹

## ワタミへの「ありがとう」の数をとにかく増やしていきたい

「真」の継続こそ力なり。」

一つのことを真の活動になるには、コツコツとやり続けること、そこには真の徹底が必要で、「真」であること…これがワタミグループの大きなメッセージでもあります。私は「継続こそ力なり」と思っています。

成すべきことは継続して、習慣になるまで、「非常にシンプルに、よりわかりやすく、やることを明確にして取り組み、徹底」する。

並びに、私たちが大切に守り通さねばならないことを徹底します。

- 人にやさしい会社、人を大切にすることであり続けること
  - 理念に基づき、額に汗する姿を必ず見続けられる会社であり続けること
  - お客さま、ご入居者様第一主義を貫く会社であり続けること
- 理念浸透と人の育成、それを可能にする組織づくり、これが一番大きな課題です。

今までの25年、これからの25年。

ワタミは、「強く、大きく」をテーマとします。

「強く」とは、ワタミの理念へのこだわりをより強いものとするを意味します。具体的には、各事業において、お客さまよりいただいた「ありがとう」を最大化するために、知恵を絞り、「ありがとう」の拡大再生産の事業構造を確固たるものとします。「大きく」とは、強くなった事業構造を持ち、それぞれの事業規模の拡大をすることを意味します。拡大とは、売上高の拡大ではなく、「ありがとう」の拡大です。

「ありがとう」の数は、お客さまの数であり、ご入居者様の数であり、お届けするお弁当の数です。そのための、店舗数、施設数、営業所の拠点数拡大です。そして拠点拡大に伴い、仲間が増えることです。ワタミグループの理念に共感し、人生をかけて戦う同志が増えることです。そして、我々の考えに賛同し、応援して下さるお取引業者様、株主様が数増えることです。

私たちが目指していることは、

外食事業では、店舗運営面での充実が伴ってきた結果、事業構造が強くなってきました。介護事業では、ブランドとサービス力を武器に、確実に大きくなってきています。高齢者向け宅配事業では、関東・関西に36の営業拠点を開設し、グループの第3の柱となるべく強く大きくへの準備が整いました。農業では、畑作部門の黒字化の達成を目標に、足元を固め直しました。環境面においては、グループ全体としての活動を強化するとともに、取り組み内容を具体化しました。

一人ひとりの社員が、自ら問題意識を持ち、考え、行動することで100年先の“WATAMI”へと踏み出しています。ワタミの伝統、文化、らしさを、より強く、大きなものにしていきます。

自らが誇りに思えるグループ“WATAMI”を、確実に、着実に一歩ずつ前進させていきたいと考えています。どうぞ、忌憚のない皆さまのご意見をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

桑原 豊



ワタミ株式会社  
代表取締役社長・COO  
桑原 豊

# ワタミグループは、理念の共有を最重

ワタミがその事業に参入してくれてよかったと言っただけのように、「人」と「人」がふれあう、あらゆる場面で、「ありがとう」を集めます。ワタミの

## ワタミグループ スローガン

「地球上で一番たくさんの「ありがとう」を集めるグループになろう」

## ワタミグループ ミッション

「地球人類の人間性向上のためのよりよい環境をつくり、よりよいきっかけを提供すること」

## ワタミグループ 経営の基本目的

「会社の繁栄、社員の幸福、関連会社・取引業者の繁栄、新しき文化の創造、人類社会の発展、人類の幸福への貢献」

## グループ社員の仕事の仕方に対する合言葉

「from-O」

「明るくのびのびと仕事をしよう」

## ワタミグループ憲章

- ワタミグループは、
- 一、地球上で一番たくさんのありがとうを集めるために戦う
  - 一、一人一人の社員が人間性の向上のため、夢を持ち、夢を追い、夢を叶える努力をする
  - 一、一人一人の社員が、人として美しい生き方を追求する
  - 一、「人」が差別化となる、コツコツと売上利益を積み上げる事業にのみ参入する
  - 一、お客さまの満足をすべてに優先させる
  - 一、公明正大な人事を行なう、完全実力主義こそ、人事の要諦とする
  - 一、額に汗した利益のみを、利益と認める
  - 一、ありがとうの分だけ売上を上げ、知恵の分だけ利益を出す
  - 一、すべてのことにおいて、損得で判断をせず善悪で判断する
  - 一、ワタミらしいことをすべて肯定し、ワタミらしくないことをすべて否定する
  - 一、100年先から見た経営をする、100年先から見た時、問われるのは数字の多寡ではなく、いかに存在し、いかに周りによりよい影響を与えたかだ

※ワタミグループ憲章はワタミグループの経営判断基準を明文化したものです。

## グループ社員としての行動基準

- ワタミグループは日々の仕事の中で以下の基準を常に意識し、行動し、常にワタミらしくあるべし
- 1. 常に謙虚なれ、常に感謝せよ
  - 1. 他人の喜びや悲しみを共有せよ
  - 1. 約束を守る、嘘をつかない
  - 1. 愚痴、陰口を言わない
  - 1. 笑顔で元気よく挨拶をする
  - 1. 出来ないと言わない
  - 1. 失敗を他人のせいにはしない
  - 1. 大いに発言し、果敢に実行する
  - 1. 他人の意見を聞く
  - 1. 恥ずかしいと思うことはしない

## グループ社員の仕事に対する心構え

- ワタミグループは同じ目的のために同じ心を持つ同志の集合体であるべし
- 1. 感激できる感性を持つべし 感激は情熱の源であり、情熱は成功への出発点である
  - 1. 逆境に悲観せず、順境に楽観せず、常にハングリー精神を持ち 挑戦し続けるべし
  - 1. 勝つまで戦え、限界からあと一歩進め 結果がすべてである
  - 1. 問題意識を持つべし 問題の発見と解決が次のビジネスチャンスを生む
  - 1. 継続こそ力なり 日々の努力は継続されることにより信用を生み、信用は力を生む

# 要視し、事業展開しています。

目指す姿は、様々な社会貢献型ビジネスをグループで展開、ステークホルダーの皆様から、感謝と信頼を集め続けます。

■事業活動を通じて「ありがとう」を集めます。  
各事業活動を通じて目指すことを表現した経営目的

## 外食

一人でも多くのお客さまに、あらゆる出会いとふれあいの場と安らぎの空間を提供すること



## 介護

一人でも多くの高齢者の方に心からのお世話をさせていただくことにより、お一人おひとりの幸せに関わらせていただくこと

## 高齢者向け宅配

一人でも多くの高齢者の方にまごころを込めた食の宅配サービスを通じて、喜びと幸せをお届けすること

## MD

バラエティ豊かで、常に変化し続けるメニューを支え、安全・安心な製品を安価で提供すること

## 農業

食の基本である安全・安心を追求し、次世代に良い環境を残し、人々の幸せに貢献すること

## 環境・メンテナンス

ひとつでも多くの施設をより地球への負荷の少ない空間に変えること

■事業を超えて「ありがとう」を集めます。  
各活動における基本的な考え

## 社会貢献&ボランティア活動

してあげることではなく、させていただくことにより学び、感動し、結果として成長させていただくこと



## ワタミ環境宣言

美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していくこと

## 「体の重い亀」

ワタミグループのキャラクターで、グループ報のネーミングにもなっている亀さんです。まじめで一生涯懸命、スピードは出ないけれど、着実に、一步一步、進む亀。できることから少しずつ、目標に向かってコツコツと、決して後戻りしない亀。私たちの姿勢の象徴です。



# 持続可能な経営へ挑戦し続けます。

「ありがとうを集める活動」を基本に、地球環境を破壊することなく、安全・安心な社会を目指します。

ワタミグループは、「人間は本来持っている誠実さ、思いやり、感謝する心、そのような美しい資質を高めるために生まれてきた。企業活動においても人間性を向上できる環境をつくっていききたい」と考え、創業当時より、人としての人間性、企業としての企業性を重視し、あらゆるステークホルダーの皆様の満足を追求してきました。「地球上で一番たくさん“ありがとう”を集めるグループになろう」に代表されるワタミの理念に基づき経済的・社会的・環境的ニーズの充足に挑戦し、既存の慣習に捉われることのない革新された社会づくりに挑戦・邁進しています。

## ■今まで、そしてこれからも。ワタミグループの特徴

### ① 理念に基づき存在対効果を最大に

ワタミの「ありがとうを集める活動」では、社員一人ひとりが集めた「ありがとうの総和」こそが会社の価値をつくると考えています。

お客さまからありがとうをいただくことはもちろん、株主様、お取引業者様、従業員、地域・社会、そして地球環境への対応など、あらゆる場面で集めるありがとうが最大となるべく事業展開をしていきます。ワタミと出会ったすべての方たちに、私たちの存在を喜んでいただけるように…この思いをカタチにすべくひたすらに「ありがとう」を追求します。

### ② 理念へのこだわりから生まれたビジネスモデル

ワタミグループの事業展開は、「創業者の思い」がそのまま現在へとつながっています。外食事業でも介護事業でも農業でも、現在の状態が一朝一夕にできたものではありません。「ワタミがその事業に参入してくれてよかった…」と言っていただけのことを目指し、どのような事業(業界)でも、常にあるべき姿を考え、皆が不便を感じていれば、そこにワタミが創意工夫を加え、挑戦を続けている姿が現在のワタミなのです。

### ③ ワタミ最大の財産は思いを共有した「人」

「企業は人そのもの」であり、私たち一人ひとりが、人生の主人公となる舞台として会社があります。

会社とは、創業者の思い(ミッション)があってこそ、初めて人が集まり、ありがとうが集まる。それが本来ではないかと考えています。

この「創業者の思い」と「それをともに実現しようとする仲間」が揃ったのがワタミグループです。

## ■ブランドテーマについて

ワタミでは、環境、社会、そして人に対して、よりやさしい存在になることを目指し、「環境貢献・社会貢献・人間貢献」をブランドテーマとして掲げ、取り組んでいます。

ブランドテーマは、私たちの存在そして行動が、グループが活動するどの領域においても「社会に対してプラスになる(我々の存在が周りに良い影響を与えられるように行動する)」という宣言です。

ブランドテーマは、会社の存在そのものから事業の選び方も、仕事の仕方も、人に良い影響を与える存在であり続け、テーマとして掲げたことを、常に忘れず、少しずつでもやり続けるという意志表示です。



## 「事業活動を通じて、社会の課題解決」に貢献

ワタミは、一人ひとりが理念に基づく自発的な活動目標を設定し、新たな価値の創出、持続可能な社会の実現に向けその内容を深めています。企業とは、単なる営利追求組織ではなく、企業市民としての社会的存在であり、社会の一員としての使命(責任)を果たし続けることにより、その存在・継続性が確保されると考えています。ワタミは、事業活動のすべてを通じて、環境への負荷を減らすこと、社会的課題の解決に挑戦し続けます。ワタミは、損得判断での営利事業活動を超えて、善悪判断/是非判断でのワタミがすべき、ワタミならできる…「ありがとう集め」に積極的に挑戦します。



### 外食

一人でも多くのお客さまに、あらゆる出会いとふれあいの場と安らぎの空間を提供すること

おいしいものがあって、良いサービスがあって、良い雰囲気がある場所に、好きな人と一緒にいる……。

こんな場面を提供したい、外食産業は人を幸せにする産業だと考え、「お店はお客さまのためだけにある」を店舗基本理念として、外食事業を展開しています。この基本理念は、「お店はお客さま」の部分の言葉を事業ごとに換えることでワタミグループすべての事業に共通する考え方となっています。



### 介護

一人でも多くの高齢者の方に心からのお世話をさせていただくことにより、お一人おひとりの幸せに関わらせていただくこと

日本の高齢化は急速に進んでおり超高齢社会となります。一人でも多くのご高齢者の方に笑顔あふれる幸せな老後をご希望していただきたい、ご高齢者の方に感謝と尊敬を込めてこの介護事業を立ち上げました。「ご高齢者の方からも、たくさんのありがとうを集めること」が目的です。親孝行に限りがないように、介護という仕事にも「これでよし」はありません。「自分の両親にして欲しいと思うことはすべて実践させていただこう。」家庭で居心地の良い清潔な空間で、お一人おひとりのご自分らしく自由で豊かな時間が流れる暮らしを目指します。すべての方に「ワタミのホームに親を入居させたいと思う子は親孝行だ」と言ってもらえるホームにすること、親を思う心をカタチにしていこうとこそ「ワタミの介護」です。



### 高齢者向け宅配

一人でも多くの高齢者の方にまごころを込めた食の宅配サービスを通じて、喜びと幸せをお届けすること

会社とは、皆の思いをひとつにして大きな思いをカタチにしていこうと存在と考えます。ワタミタクシヨクが展開する高齢者向け宅配事業は、高齢者の幸せのための高齢者による高齢者のための事業です。ビジネスモデルとしての確立を目指しています。お弁当をつくっている人が主に高齢者のパートさん。お弁当を運ぶ「まごころさん」が主に高齢者の自営業の方。お弁当を召し上がる方=お客さまが一人住まいの高齢者、もしくは高齢者のご夫婦です。

毎日あまり人と接することがないご高齢者の方が今日の夕食を待つ、顔見知りの「まごころさん」が家に来る、しばしの世間話、「はい、お弁当。今日も元気ていこうね」、「まごころさん」が励ます…。「今日もありがとう」「こちらこそありがとう」、ありがとうが飛び交う社会のお手伝い、これがワタミタクシヨクです。



### M D

バラエティ豊かで、常に変化し続けるメニューを支え、安全・安心な製品を安価で提供すること

「食」を取り巻く環境の変化がますます加速する中で、「食の安全・安心を守る」ことは、「食」に関わる企業として当然の責務であると考えます。ワタミ手づくりマーチャンダイジングは、生産から消費までの商品の全工程を設計して「安全・安心」な商品をお届けします。これからも、「食」を通じてお客さまからたくさん「ありがとう」を集める活動を広げていきます。



### 農業

食の基本である安全・安心を追求し、次世代に良い環境を残し、人々の幸せに貢献すること

長年、海外に依存した食糧政策、そして化学肥料に頼った農業政策が破綻し、環境に負荷をかけない「有機農業」が認知され始めています。ワタミグループの農業参入は、「お客さまに、安全で安心な食材を使った料理をお出ししたい」と考えてのことでした。現在、安全・安心な農産物の提供と国内の農業諸問題を少しでも改善しようと全国の有機農業者とワタミグループ・ワタミファームが連携し、安全・安心な農業を推進しています。



### 環境・メンテナンス

ひとつでも多くの施設をより地球への負荷の少ない空間に変えること

お好み焼き宅配の「KEI太」での使い捨て包装容器問題から始まったワタミグループの環境対応活動は、現在、ワタミエコロジーに引き継がれています。環境への取り組みは、妥協するのではなく、現状でどのような環境負荷をかけているのかを自覚し、「出来る限りのことをすべて実行する」ことを基本にしています。グループでの環境への取り組みは、ワタミ(株)が中心となって強化徹底し、ワタミエコロジーは、「様々な施設における環境改善を行うことにより、現在進行している地球規模の環境問題の改善に寄与する」ことを目指し、環境対応型メンテナンス事業に集中しています。

# コーポレートガバナンス

## ガバナンスに対する基本的な考え方

ワタミグループは「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになろう」をスローガンとして、ステークホルダーの皆様から感謝される存在になることを目指し、経営上のスピーディな意思決定を図りつつ、経営管理を効果的に行うことに努めています。

コーポレートガバナンスの構築において、経営の透明性、企業倫理の確立は重要な要素であると認識し、今後とも継続的な改善活動に取り組んでいきます。

## ■グループ意思決定の仕組み

ワタミグループでは、毎月2回、ワタミ(株)の取締役およびグループ各社の社長・CFOなどが参加する「グループ経営会議」を開催しています。

会議は、グループの事業効率を高めること、経営資源の管理、適正配分すること、潜在リスクに対応することなど事業活動の安定性・信頼性を確保したうえでグループの意思決定を行うことを目的としています。

また、ワタミグループでは稟議システムを採用しており、一定基準の案件に関しましては関係部門と管理部門の審議を経たうえで、業務の執行を行う体制をとっております。社内規定に基づきリスク管理グループがそのシステムの管理・運用およびその執行状況を監査しています。

さらに毎月1回、グループ各社の「役員会」において経営状態・サービス提供状態・従業員のマネジメント状況などを多角的に把握するため、KPI (Key Performance Indicator:重要経営指標)の確認、レビューを実施しています。これによって各社の課題の早期発見・解決を図り、意思決定の質・スピードの向上を実現しています。

## ■集団指導体制の確立

ワタミでは「現場の声」を経営に反映させることを重視するため、グループ主要各社の社長がワタミ(株)の取締役を兼務する体制である「集団指導体制」が2年目を迎えました。

ワタミ(株)の取締役およびグループ各社の社長など経営幹部が参加する月2回の「グループ経営会議」での経営上の重要な方針・戦略の決定に向け、週1回の「役員ミーティング」において「グループ経営会議」付議事項について事前討議することが定例化しています。

創業者の築いた「起」のステージから「集団指導体制」による「承」のステージにおいてワタミグループを「強く大きく」するための取り組みを着々と進めています。

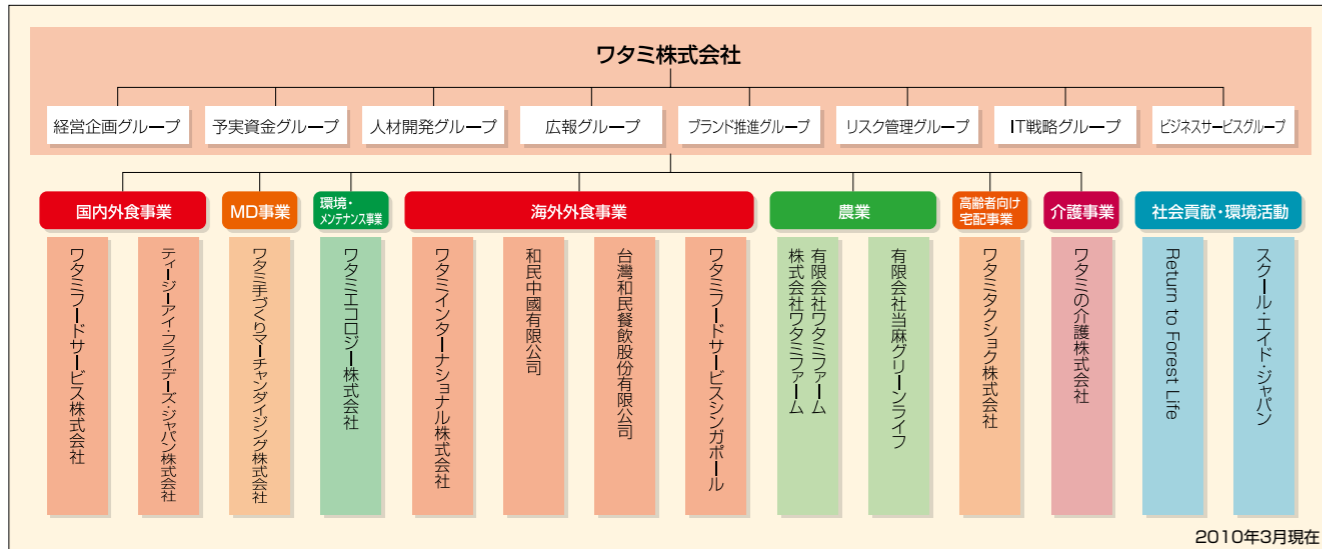
## ■純粋持株会社体制への移行

ワタミグループは平成18年より経営管理と業務執行を分離した持株会社体制に移行していますが、グループの企業価値を最大化し、100年企業として今後も永続的に発展していくためには、これまで以上にお客さまの近くにいる事業会社に権限を大幅に移行し、意思決定と業務執行の迅速化を図ることが必要と判断しています。

ワタミ(株)において、平成22年10月1日を効力発生日とした会社分割手続を実施し、事業用資産の賃貸事業を各事業会社に承継させることにより段階的に純粋持株会社化を進めています。

ワタミ(株)はワタミグループの戦略立案・コンプライアンス体制強化およびシェアードサービスに特化し、少数人数でも効率的に運営される「小さな本部」を追求しています。

■ワタミグループ体制図



# コンプライアンス

## 企業倫理とコンプライアンスの徹底

ワタミでは、企業としての社会的責任を果たしていく上で「理念の浸透」に加え、「企業倫理の確保」と「順法精神の醸成」を最も重要な活動として位置づけ、社内への浸透に徹底的に取り組んでいます。一人ひとりが法令の順守にとどまらず、高い倫理観・使命感を持って実践できるように全員に「理念集の配布」とグループ全社員が参加する「理念研修会」や、新入社員研修にて、「コンプライアンスをテーマに講義」を行っています。

## ■ワタミヘルプライン

ワタミでは、グループ内に存在する問題を広く受け付け、積極的に解決し、自己改善・自浄のできる組織になることを目指し、情報収集窓口(ワタミヘルプライン)を、グループ全従業員(パート・アルバイトを含む)およびお取引業者様に向け開設しています。

2009年度は、より通報しやすい環境をつくることを目的に、グループ内の告知徹底、またお取引業者様約1,000社に対し冊子を配布させていただきました。

ヘルプラインは、2006年4月から施行された公益通報者保護法にも準拠し、社内独立組織のヘルプラインプロジェクトに直結連絡する窓口と外部委託機関である(株)インテグレックス経由で連絡する窓口を設置、早期発見・未然防止の体制を強化するとともに、制度の透明性・利便性の向上、通報者の保護の徹底に努めています。

ヘルプライン受付アドレス  
※Eメールアドレスへは携帯電話からのメールでも可能です。  
A ワタミヘルプラインプロジェクト w-helpline@watami.net  
B (株)インテグレックス(外部委託会社) w-helpline@integrex.jp  
インテグレックスホームページ http://www.integrex.jp



2009年度にワタミグループ全社に掲示したポスター

# リスクマネジメント

## ■内部統制の推進(金融商品取引法:J-SOX対応)

ワタミでは、金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制の評価・報告制度(J-SOX)への対応を図り、推進のため、グループ会社を含めた内部統制の体制構築、社内規定や対外文書の整備を行ってきました。その結果、2010年3月期の監査法人による「内部統制監査報告書」にて、弊社財務報告に係る内部統制が有効である旨の記載が適正である旨の意見を得ています。

## ■BCP(事業継続計画)の策定

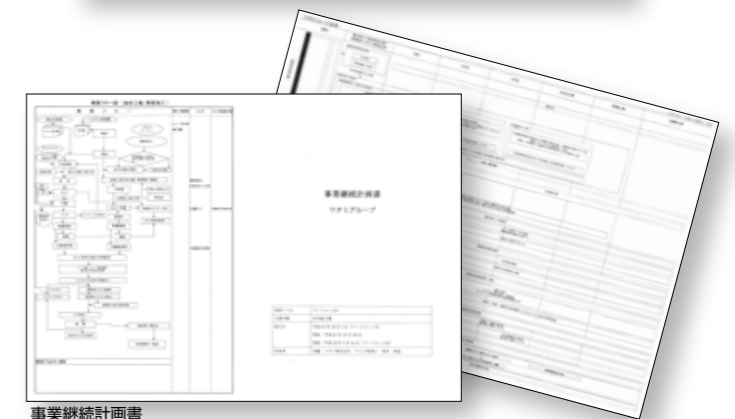
ワタミでは、大規模災害発生時の事業継続や復旧の必要が生じた場合を想定したBCPの検討・策定に取り組んでいます。

- 2009年度におきましては、  
①大規模な自然災害発生の際に、グループ社員の安否確認を迅速に行う仕組みとして、各人の携帯電話による安否確認システムの運用を開始  
②新型インフルエンザの発生とその大流行(パンデミック)に対する対応策の策定などを行いました。

## ノロウイルスによる食中毒事故発生のご報告

ワタミフードサービス株式会社は運営する外食店舗において、昨年度2件のノロウイルスを原因とする食中毒事故が発生し、各々3日間の営業停止の行政処分を受けました。1件目は、2010年1月18日の「語りい処 坐・和民 JR三宮高架下店」、2件目は、2010年2月18日の「語りい処 坐・和民 広島西条駅前店」です。両店舗におきましては、事故発生時より保健所の指導に基づき対応、改善に努めております。

ワタミグループにおきましては、従来より、原材料の菌検査や外部検査機関による衛生検査を行ってまいりましたが、再発防止と信頼回復のため、各営業拠点における衛生管理の強化を行い安全衛生対策に取り組んでまいります。今回、発症されたお客様には大変なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。また、関係者の皆様にもご心配ご迷惑をお掛けしましたこと、重ねて深くお詫び申し上げます。



事業継続計画書